

画像データをパソコンに取り込み、出来栄を見る部員たち＝ひたちなか市稲田



はばたけ!!
創造の翼
県高校総文祭出場校

■中■

県内高校文化部による最大の祭典「県高校総合文化祭（総文祭）」は、美術展覧会の写真部門が31日～11月5日に県つくば美術館で、書道部門が11月9～13日に県民文化センター展示室で開催される。出場校の中から、佐和高写真部と水戸葵陵高書道部の活動を紹介する。

佐和高写真部

デジタルカメラの普及が、確実に写真部のイメージを変えた。一見すると、まるでパソコンの授業のよう。現像液の酢臭さが漂った暗室のイメージは、みじんもない。実際、部員たちは画像取り込みの技術を生かし、コンピューター講習のインストラクター役も務めているという。

「講習の資料は全部生徒が作るなど、自ら考え行動できる子たちが多い。それなので写真についてはこちらでアドバイスはするが、やはり最後は個人の感性を大切にしたいと考えている」と、顧問の飯島孝教諭は話す。

個人の感性を大切に

部員数は、引退した3年生を除いても43人。写真部としては県内有数の規模だ。普段の撮影は個人で自由に行い、部活でパソコン処理、データを蓄積する。校内での作品展は春と夏。春は新1年生のデビュー展となる。さらに6月の文化祭、秋の文化週間と出品の機会は結構多い。

部長の鈴木杏奈さん（2年）は「部員同士だけでなく顧問の先生にもちゃんと意見が言える雰囲気がこの部にはある。昨年の総文祭で最優秀となった先輩を目標に、伝統をつくっていきたい」と、総文祭への抱負を語った。